



第 12 号
2017. 2. 8

発行
長野県松本美須々ヶ丘高等学校同窓会
〒390-8602
長野県松本市美須々 2-1
長野県松本美須々ヶ丘高等学校内
TEL・FAX (0263)33-2560(事務局直通)
ホームページ
http://www.misuzu-dosokai.jp/
メールアドレス
jimmu@misuzu-dosokai.jp

印刷 SALAT (株) サラト

私たちの同窓生
会員数 34,559人
在校生 961人
(男 435、女 526)
平成 28 年 4 月現在

前身学校
長野県市立松本女子職業学校
長野県松本高等家政女学校
長野県松本市立高等女学校
長野県松本市立中学校
長野県松本市立女子商業学校
長野県松本市立高等学校



同窓会会長 中村 一郎 (昭和 37 卒)

同窓会活動に新風を吹きこみながら
今後益々の活性化を図ろう

同窓会会員の皆様方におかれましては、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。平素は同窓会の発展および活性化のために格別のご高配を賜り、誠にありがとうございます。厚く御礼申し上げます。

まずは、同窓会のこの一年を振り返ってみますと、年間行事として最も重要且つ最大の定時総会におきましては、一昨年度、昨年度に引き続き大勢の同窓会員の皆様方のご参加を

いただきました、感謝申し上げます。次年度以降も是非このような総会が発展的に継続実施されますことを切に望んでおります。

尚、ご承認いただいた議案のうち「第五号議案同窓会名簿作成については、今年発行予定で準備を進めております。前回発行年から十三年経ち、新たに四千名余の同窓生の名簿が加えられ、今後の同窓会活動に一層の力を得ることになると思われます。また、会

場におきまして熊本地震による被災者支援の義捐金募集を、急遽お願い致しましたにもかかわらず、多くの方より温かいご協力をいただきました。後日、新聞社を通じて現地へお届けしましたことをご報告するとともに、この紙上をお借りして改めて厚く御礼申し上げます。本当に有難うございました。

さて、学校の方に目を転じますと、定年退職された寺沢宏芳前校長先生の後任として、昨年の四月から保坂美代子校長先生をお迎え致しました。皆様もご存知のとおり女性の校長先生は、本校の歴史上初めてのことであり、非常に意義深いものがあります。女性ならではの視点を生かした教育活動において、益々のご活躍をご祈念申し



副会長 保坂 美代子

母校への思い

同窓会員の皆様には、日頃から母校発展のために多大なご支援とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

私は昨年四月から本校でお世話になっておりますが、出身地松本の歴史ある高校である美須々ヶ丘のために、微力ながら力を尽くす所存です。どうぞよろしくお願い申し上げます。

今年度も学校では生徒たちがクラブ・生徒会活動、学習活動に落ち着いて取り組み成果を上げております。

特にクラブ活動では、主な大会報告にありますように例年以上の成績を収めた部が多く、上位大会への出場を果たして活躍の場を拡大しました。生徒会活動の中でも、多くの生徒が地域のボランティアに参加するなどして、貴重な体験を積んでいます。

また、同窓会のご協力をいただく美須々ヶ丘セミナーは、松本の街づくりや長野県の歴史に関する講座を三回のシリーズで開講し、保護者や地域の方にも開放しました。生徒が

社会に目を向ける機会であるだけでなく、地域に開かれた学校づくりにも寄与する活動として、今後も継続したいと考えております。

さて、今年も多くの県立高校で周年行事が行われました。創立百年以上になる学校のみ挙げても、赤穂高校百周年、松代高校百周年、更級農業高校百周年、下高井農林高校

百周年、長野西高校百二十周年、松本深志高校百四十周年などがありました。私は、前任校である富士見高校の創立九十周年記念式典と、深志高校の式典に出席しましたが、いずれも学校の伝統と特色がよく表現され、同窓生と在校生の母校に対する思いが凝縮した素晴らしい式でした。

これらの周年行事を通じて、高校生活が人の一生の中でいかに思い出深く、大きな位置を占めるかを実感していた秋のある日、本校を昭和四十一年に卒業された下沢栄重さんと、昭和四十三年卒の伊藤篤実さんが来校されました。お二人は柔道部の先輩・後輩の間柄で、下沢さんは昭和三十三年に東京オリピックの

聖火ランナーの伴走者選ばれて、市内を走った経験をお持ちです。その際に着用した記念のユニフォームを母校に寄贈してくださいました。

下沢さんのお話の中からは、母校の発展を願う後輩達の活躍に期待する強い思いが伝わってきました。卒業してからも美須々ヶ丘のことを思わない日はなかった、というお言葉には胸が熱くなり、高校での三年間がその後の人生の礎ともなり得ることを改めて感じた次第です。

このような同窓会員の皆様の母校に寄せる深い思いに応えるべく、今後も教育内容の充実にも努めてまいりますので、変わらぬご指導のほどお願い申し上げます。



同窓会の役員になって思うこと

副会長 石田 さち子 (昭和56卒)

今年の総会で承認を頂き、副会長の任を務めることになりました。微力ではありますが、母校のために、何か少しでもお役に立てればと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

なく、母校に対する思い入れが強く、在校生に深い愛情をお持ちの方ばかりで、それまで、同窓会の存在を遠いものとしていた私にとっては、ある意味では驚きであり、また頼もしく有り難い方々でした。

高校卒業以来三十年以上も、同窓会とは無縁の生活を送っていた私ですが、百周年記念事業をきっかけとして、双蝶祭での、同窓会による豚汁サービスの手伝いをするようになりました。そこに関わっている皆さんは、同窓会の役員であるなしに関係

私は、松本市の中央公民館で、地域の方々と一緒に、子どもたちが松本のまちを自分たちの故郷として愛着を持てるように、現在の変わりゆくまちなかの様子を体感したり、お年寄りが子どもだったころの、古き良きまちなかを知ってもらったりしよ

うと、ささやかな活動をしていました。ある時、百周年に関連して、双蝶祭で、市内の様々な団体が、自分たちの活動を発表する機会があり、そこに参加するように、公民館主事だったOBの方から声を掛けていただき、私たちの活動も発表をさせていただきます。

子どもをはじめとする、松本市の社会教育活動のお手本として、日頃より尊敬していた先輩方がいらしたのです。その福島さんが中心となっていて、双蝶祭で在校生や来場者に豚汁をふるまうという企画を、お手伝いすることになり、それが現在まで続いています。

時代が違うとはいえず、どうしても三十五年前の自分たちと比べてしまいますが、当時の自分は、若者にありがちな悩みはあったものの、勉強や部活はほどほどに、友達と毎日を明るく笑って過ごしていました。その仲間とは、長い年月を経た今でも付き合いがあり、高校時代には想像もつかなかった人生を、励ましあいながら過ごしてきていて、その頃の思い出を宝物のように大事にしなから、時々思い出しては皆で懐かしんでいます。



みんなでささえあつこと

理事 中村 ひとみ (昭和57卒)

今年度の定期総会で承認され、理事としてお手伝いさせて頂いた多くことになりました。どうぞよろしくお願いいたします。

私は社会福祉協議会という社会福祉法人に籍を置き、振り返ればずいぶん長いこと「福祉」に携わってきました。福祉って何だろう？と幾度となく考える

のですが、一般的には『貧困者や保護を必要とする人々の援護、更生を行う』などと非常にわかりにくい表現をされていることが多いのです。

昔は行政が法律に基づいた制度でそのような対象者を援護することが福祉であったかと思うのですが、時代の流れとともに

変化しています。行政だけでなく住民が福祉に関わり、実践し、よりよい地域を目指していく、そんな社会が広がってきています。そもそも、行政等の力だけでは住みよい街は作れるものではなく、そこに住む方々の考え方、関わり方が最も大切なのです。

ご承知のとおり高齢化はどんどん進み、いわゆる団塊の世代が七十五歳を迎える二〇二五年はすぐそこまで来ています。自分はまだ若いから関係ないとか、なんとかなるさ、などと逃げてもいられない状況です。

そもそも高齢者になると、できないことが増え少しずつ生活に不自由を感じるようになっていきます。障がいをお持ちの方も生活上の困りごとが健常の方より少し多いのです。つまり「ふくし」とは特別なことではなく「ふだん」の「くらし」の「しづらさ」を支えることであり、誰にでもお手伝いできることがたくさんあるわけです。

その辺をわかりやすく市民のみなさんに伝え、協力してもらう体制をつくるのが私の役割だと思っています。



活躍する卒業生



ラジオ体操愛

三輪 尚弘 (昭和41卒)
全国ラジオ体操連盟公認 ラジオ体操指導士

「腕を前から上にあげて背伸びの運動から・・・」そう言っ
て始まるラジオ体操。美須々ヶ
丘での三年間「卓球漬け」だっ
た私は、三年生の夏休み後、意
を決して体育大学を目指した。
五十年余り前の事。記憶をたど
れば卒業式当日が実技入試日
と重なり、合格決定の後、事務
室にて卒業証書の入った筒を
いただいたのを覚えています。
そこから二十五年以上の時
が過ぎ、世の中のスイもアマイ
も味わいながら、美須々ヶ丘で
の印象も薄れた頃、次男がわが

母校に入学。
その彼が幸いにも三年間(勉
学は二の次・三の次)サッカー
に明け暮れた末、三年の決勝戦
迄進んだ事もあり、改めて母校
を意識するようになりました。
ついでに・・・次男は社会人
になってもサッカーを続け、仕
事で七年間タイ(バンコク)に
滞在中も世界各国から仕事で赴
任してサッカー好きな人がチー
ムを作っているリーグで日本代
表としてサッカーを続け、グ
ローバルな友人ができた事を
「宝物」と思っているようです。

話は戻ります。
私はというと、年柄どなたも
経験される親の介護という場面
を味わう事になり、母の自宅介
護を五年余り続けておりました
(三年前に他界)後、「さて！」
これから「どうしたもんじゃろ
の〜」と思う中で、「フツ」と
よみがえったのが、大学時代勉
強していた『体操』の事でした。
医者から日常メタボリックシ
ンドロームに要注意と常々言わ
れていた私は、近所のお年寄り
が近くの公園で、毎朝ラジオ体
操を元氣に行っている事は承知
していたのですが、ある日
ウォーキングの途中で参加して
みました。私より高齢の方々が
楽しそうにラジオに合わせてラ
ジオ体操を行っていました。で

もさすがに、皆さん自己流で、本
来の体操の動きではありません。
「どうせやるのなら、正しい
動きの体操を」と(でしゃばる
気持ちは無かったのですが)、
声を掛けるところ、皆さんから
「前に立って教えて！」と言わ
れ、今に続いています。
私は、大学時代四年間、恩師
青山敏彦氏(全国ラジオ体操連
盟理事長)に、みっちりラジオ
体操を教え込まれました。(昨
年ラジオ体操指導士の資格を正
式に取得)

ラジオ体操については、私の
年代の六十代以上の方は、学校
時代授業でラジオ体操を習って
は行っていない様です。町内
で毎朝行っている体操会は、犬
の散歩も兼ねて、又友人とのお
しゃべり等、顔を合わせて元氣
確認やお互いの結び付きが出来
るといふ二次的な効果もありま
す。私は、この様な面も大変重
要な事と思っています。そこで
問題なのは、このような「体操
会」を、リーダー育成も含めて
継続してゆく大切さです。
松本や地元での組織造りが急
務と考え(全国には地域連盟が
多数あります)現在、皆さんの
お力を借りて、組織を立ち上げ
る活動を始めたところです。
ラジオ体操の最後に言う、『最
後は大きく深呼吸をして終りま
す』・・・
そんな人生を送れたら「本望」
かな?と思ひ、『ラジオ体操愛』
の日々が続いています。



音を楽しむ

渡邊(佐原)玉紀 (平成元卒)

平成二十八年度同窓会定期総
会にて、東京フィルハーモニー
交響楽団 首席フルート奏者
の、神田勇哉さんと演奏をさせ
ていただき、大変お世話になり
ありがとうございました。
ありがとうございます。
音楽をやっている仲間のつな
がり、本当に良いものです。
私は、高校に入学した時から、
四歳から続けてきたピアノを活
かした大学に進学したく、中学
時代も入っていた吹奏楽部に所
属しながら自分の目標に向けて
学んできました。私たちの入学

と同時に、高橋雅大先生が赴任
され、様々な相談にものついて
いただき、理解もしていただき、
部活動をやりながら、大学に進
学するためのレッスンにも通わ
せてもらい、先生にも、部員の
皆様にも迷惑をかけたことも
あったかもしれないが、とて
も楽しい三年間を過ごしたこと
を覚えています。
ピアノの練習は、孤独です。
自分の世界に、いかに入り込
み、楽しんで練習できるかが課
題でしたが、今思うとそれが辛

くなることも時にはありまし
た。しかし、吹奏楽をやってい
たことよって、一人ではでき
ない、仲間と気持ちをひとつに
して作る音楽の楽しさを痛感
し、さらに、自分を成長させて
くれた大切な時間になり、その
後、目標だった音楽大学に進学
することができました。
音楽を通して、私はたくさん
成長させてもらいました。たく
さんの出会いもありました。全
て大切な宝物です。音楽は、自
分の思いを音に託し、音で会話
をしながら人を感動させること
ができます。演奏をして、喜ん
でもらえたときが一番嬉しいで
す。ずっと続けてきた音楽に
よって、自分に自信もつきまし

た。これからも、音楽を日々の
励みにしながら、続けていきたく
いと思っています。今までの音
楽をやったこと、これら環境や、両
親を始め、支えてくれたる家
族、私に関わってくれている周
りの皆様には、本当に感謝です。
今は娘も音楽で大学に進学し
ました。息子も楽器を吹きだし
ました。音楽は、音を楽しむと
書きますが、よく話をするのは、
どんな時でも、自分が楽しんで
演奏すること。楽しく演奏でき
たら相手にも楽しさが伝わる。
失敗を気にするのではなく、と
にかく、楽しむことが一番。で
も、楽しむための努力は必要だ
よと。いつか家族で演奏できた
らいいな、と思う日々です。

いろんな演奏を通して感じて
はいましたが、このことを、改
めて感じさせてくれたのは、神
田さんの演奏でした。他でも一
緒に演奏をさせてもらう機会が
ありましたが、神田さんが息を
吸った瞬間、その周りが、曲の
色や、風景に変わるのです。目
の前で体感した時、奏者の気持
ちに、もつと心えられる伴奏者
にも、指導者にも、なっていき
たいと改めて目標ができました。
これからも、前向きに日々
精進していきたいと思ひます。
母校の行事に関われたこと、嬉
しく思うとともに、感謝してお
ります。ありがとうございます。
た。

平成28年度 長野県松本美須々ヶ丘高等学校同窓会定期総会

《会議次第》

- 1 開会のことば
- 2 同窓会会長あいさつ
- 3 学校長あいさつ
- 4 同窓会顧問あいさつ
- 5 同窓会参与あいさつ
- 6 議長選出・議長就任あいさつ
- 7 議事録署名人の委嘱
- 8 議 事
 - 第 1 号議案 平成27年度事業報告について
 - 第 2 号議案 平成27年度決算報告及び会計監査報告について
 - 第 3 号議案 平成28年度事業計画（案）について
 - 第 4 号議案 平成28年度予算（案）について
 - 第 5 号議案 同窓会会員名簿（2017年版）の作成について
 - 第 6 号議案 役員の改選について
- 9 議長退任あいさつ
- 10 報告事項
 - (1) 学校の近況について
 - (2) 創立100周年記念誌の販売について
 - (3) その他
- 11 閉会のことば



会長挨拶

6月18日(土) 15:00～
松本東急REIホテル
クリスタルルーム



校歌合唱

提出議案につきましては、すべて原案のとおり承認されました。

今年度の定期総会、コンサート、懇親会に出席されたみなさまは、100名でした。

平成28年度の当番幹事のS54年卒、H元年卒のみなさまありがとうございました。
来年度（S55年卒、H2年卒）のみなさま、宜しくお願いします。

平成二十八年年度 同窓会役員名簿

役 職	氏 名	卒業年
顧 問	銭 坂 明 尚	昭和 22
"	井 口 善 高	昭和 30
"	福 島 昭 子	昭和 26
顧 問 (校 長)	保 坂 美 代 子	
参 与	山 元 秀 泰	昭和 47
"	中 川 博 司	昭和 52
"	豊 裕 一	平成 元
会 長	中 村 一 郎	昭和 37
副会長(会長代行)	小 林 磨 史	昭和 48
副 会 長	百 瀬 富 貴 子	昭和 45
副会長(事務局長)	瀬 川 久 幸	昭和 55
副 会 長	石 田 さ ち 子	昭和 56
副会長(教頭)	工 藤 哲 夫	昭和 52
常 任 理 事	大 林 好 矩	昭和 28
"	山 田 悦 生	昭和 42
監 事	松 本 武 子	昭和 47
"	小 野 伸 二	昭和 61
会 計	原 元 士	昭和 50
会 計 (事 務 長)	小 原 徹	
理 事	三 澤 博	昭和 39
"	三 輪 尚 弘	昭和 41
"	北 平 聖 子	昭和 43
"	川 崎 亨	昭和 45
"	大 沢 千 尋	昭和 46
"	中 村 俊 春	昭和 46
"	堤 典 義	昭和 52
"	須 澤 稔	昭和 54
"	中 村 努	昭和 56
"	中 村 ひとみ	昭和 57
"	田 村 義 夫	平成 3
事 務 局	住 田 慶 子	昭和 37
"	鳥 羽 美 根 子	昭和 37
"	横 田 麗 子	昭和 43
"	逢 澤 幸 子	昭和 45
"	滝 沢 愛 子	
学 校 職 員	祖 父 江 信 一	昭和 59
"	酒 井 舞	平成 14
"	依 田 和 浩	

平成27年度 松本美須々ヶ丘高等学校同窓会 一般会計決算書

収入総額 10,289,460 円
支出総額 8,055,823 円
差引残額 2,233,637 円

1 収入の部

単位：円

科 目	予算現額	収入済額	差 額	摘 要
1 会 費	6,800,000	6,665,888	△ 134,112	
1 新入生会費	1,610,000	1,615,000	5,000	新(転)入生 323人×5,000円
2 卒業生会費	3,190,000	3,130,000	△ 60,000	卒業生 313人×10,000円
3 会員会費	2,000,000	1,920,888	△ 79,112	会員 1,021人
2 諸収入	10,994	25,566	14,572	
1 諸収入	994	566	△ 428	預金利息
2 百周年記念誌代	10,000	25,000	15,000	記念誌3冊、名簿2冊
3 繰越金	3,598,006	3,598,006	0	前年度からの繰越金
合 計	10,409,000	10,289,460	△ 119,540	

2 支出の部

単位：円

科 目	予算現額	支出済額	予算残額	摘 要
1 活動費	8,786,200	6,555,823	2,230,377	
1 事務費	2,181,200	1,207,847	973,353	事務局職員謝金、ホームページ作成料、消耗品等、電話代、インターネット利用料、郵送料等、事務局光熱水費、HPサーバ使用料等、卓上丁合機、プリンタ、ホームページ掲載謝礼
2 会議費	255,000	142,900	112,100	役員会経費、野球部創部70周年記念イベント、同級会(H3卒)、同窓会(H6卒)補助
3 総会費	660,000	517,780	142,220	アトラクション、総会経費、案内印刷・郵送料、新聞広告
4 母校援助費	2,300,000	1,776,666	523,334	双葉祭行事費、新聞広告掲載料、小体育館バトン(90周年同窓会設置)点検・修理、扇風機、美須々ヶ丘セミナー補助、吹奏楽部・バスケット部・テニス部・写真部支援費、バレーボール支柱購入等
5 同窓会報発行費	3,000,000	2,535,110	464,890	会報印刷・発送経費
6 卒業記念費	240,000	237,600	2,400	卒業証書ホルダー購入
7 交際費	150,000	137,920	12,080	学校歓迎会への出席役員補助等
2 積立金	1,500,000	1,500,000	0	特別会計へ積立
3 予備費	122,800	0	122,800	
合 計	10,409,000	8,055,823	2,353,177	

特別会計(積立金) 残高報告

26年度末残	27年度増減		残 額	摘 要
	増	減		
22,374,452	4,564		23,879,016	預金利息
	1,500,000			一般会計から

平成28年度 松本美須々ヶ丘高等学校同窓会

神田 勇哉 フルートコンサート

2016年6月18日 16:00～ 松本東急REIホテル

プログラム

- ◇ 多久潤一朗：虹
- ◇ モーツァルト：オペラ「魔笛」より
- ◇ モリコーネ：ニューシネマパラダイス
- ◇ ドビュッシー：シランクス
- ◇ モンティ：チャルダッシュ



現役吹奏楽部員より花束贈呈

◆ 神田 勇哉 平成14年本校卒業 93期生
東京フィルハーモニー交響楽団 首席フルート奏者



東京藝術大学を首席で卒業後文化庁海外派遣研修生として渡仏。パリ地方音楽院、エコール・ノルマルにて研鑽を積む。ソリストとして日本、フランスでリサイタルを、MagnumTrioメンバーとして日本全国に加えソウル(韓国)、マンチェスター(イギリス)、トロント(カナダ)公演を行う。

日本フルートコンベンションコンクール、日本木管コンクール、びわ湖国際フルートコンクール、コンクール・ジュヌフルーティスト(フランス)、三田ユネスコフルートコンクールなどで優勝および入賞。

◆ 渡邊 玉紀 平成元年本校卒業 80期生
ピアニスト

ピアチェレミュージックスクール(渡邊ピアノ教室)主宰

武蔵野音楽大学器楽科ピアノ科卒業、ピアノを浅川豊夫氏、森山ゆりこ氏、菅沼綾子氏、鳥羽幸子氏にまた、声楽を鐘ヶ江敬氏、吉池道子氏の各氏に師事 ヤマハ音楽教室講師を経て現在に至る。



後進の指導をしながら、ブライダル・ラウンジプレイヤー、コーラスなど様々な楽器の伴奏ピアニストをつとめている。團伊玖磨作曲“交響詩 おやすま”の伴奏ピアニストを務め、團伊玖磨氏の指導のもと、團伊玖磨 指揮、東京交響楽団演奏の演奏会に出演。松本平第九を歌う会・松本市市制施行100周年記念第九演奏会の伴奏ピアニストを務めた。

双蝶祭にて豚汁提供

皆さんが楽しみにしている「同窓会の豚汁」を用意しました。

雨模様だったので、場所を変更して正面玄関ピロティにて準備・提供をしました。売れ行き(?)は上々で40分ほどで、400杯分完食となりました。



学校整備共同作業



平成二十八年年度 美須々ヶ丘セミナー

「地域について学ぶ信州学講座」

本校では毎年生徒の学力向上と社会に対する視野を広げる目的で、同窓会・PTAのご支援のもとに美須々ヶ丘セミナーを実施しております。

昨年度はキッセイ文化ホール大ホールをお借りして講演会とパネルディスカッションを行い、高校生が自立や自治について考える好機会となりました。

今年度は、昨年度とはやや趣を変え、長野県教育委員会が推奨している「信州学」をキーワードにしてテーマを設定し、授業が終わった放課後に参加希望者を募って、計3回のセミナー講座を実施いたしました。

今年度の美須々ヶ丘セミナーの目的は大きく二点あります。まず、第一点目として、グローバル化が進む現代社会において、高校生がややもすると見失いがちな自己の、重要な拠り所としての自分が生まれ育ったローカルな地域社会のことを深く考える目的です。いわゆる「信州学」の基盤となる考え方です。第二点目の目的として、生徒自らが自分の希望で講座を選択して参加することで、「アクティブ・ラーニング」につながる主体的で積極的な学びの姿勢を醸成することです。講座は幅広い世代との学び合いの観点から、同窓会、PTA、近隣住民の方にもご案内をしご参加をいただきました。充実したセミナーとなりました。

第1回セミナー (10月11日)

テーマ 「城下町松本の未来像」
講師 信州大学経法学部・学術大学院 武者忠彦 先生

第1回目のセミナーでは、まず自分たちが暮らしている松本地域の町作りについて、信州大学で専門に研究されている武者忠彦先生をお招きして講義を伺いました。

様々な特長を持つ松本市が城下町という遺産を活かし、いわゆる箱モノの空間作りから、その中身である文化を作りあげていく必要があることや町作りの主体はかつては行政であったが、今後は地域社会に存在する資源を基礎として地域住民が担っていくことなどのお話がありました。

また、国際的にも城下町のサイズは徒歩15分圏内であることや江戸時代の松本の職人ベスト1は豆腐屋でベスト2は桶屋であったことなど興味深く講義を拝聴しました。



第2回セミナー (11月25日)

テーマ 「留学生から見た松本」
講師 信州大学留学生 計9名
タイ・インドネシア・オランダ・アメリカ・イタリア・オーストラリア・ドイツ 計7ヶ国



第2回目のセミナーでは、信州大学に留学している留学生をお招きして、グループ別に交流を行いました。簡単なゲームの後、留学生の方が松本に来て不思議に感じたことや母国との違いなどをお話いただき、国際社会の多様性を理解すると同時に松本の良さなども実感しました。英語がなかなか通じず英会話力の必要性を感じた生徒も多かったようです。

留学生の皆さんとは最後に腕相撲などをして、本当に楽しく充実した時間となりました。

第3回セミナー (12月16日)

テーマ 「真田丸と松本」
講師 長野県立歴史館 専門主事 村石正行 先生

今年度最後の第3回美須々ヶ丘セミナーでは、今年NHKの大河ドラマで大きな話題となった「真田幸村(信繁)」を軸として戦国時代の信濃武士についてのお話を伺い、郷土の歴史について知識を深めました。

大坂冬の陣での真田幸村(信繁)の活躍(いわゆる「真田丸」での戦いぶり)や大坂夏の陣での信濃武士同士の対決としての、松本城主小笠原秀政の討ち死にの様子など、詳細にお話しいただきました。当時信濃武士達が大きな勢力に挟まれながら、賢明に生き抜く姿が印象的でした。また、徳川家康の影武者が小笠原秀政であったのではという説があることなども紹介されました。



平成28年度 クラブ活動の主な大会報告

学芸クラブ

FMC 演劇 合唱 写真 吹奏楽 ダンス 美術 書道 放送 情報処理
生物 被服 漫画 華道 茶道 映画研究

F M C	高文連パワーライブ県大会・高文連パワーライブ県フェスティバル
演 劇	県高等学校演劇同発表会 優秀賞 創作脚本賞最優秀賞
合 唱	NHK全国学校音楽コンクール高等学校の部県大会 銀賞 全国高等学校総合文化祭広島大会 文化連盟賞 東京国際声楽コンクール高校生アンサンブル部門 甲信越地区大会優秀賞 // 東日本准本選 入選 // 本選 3位入賞
写 真	中信高等学校写真展・キッセイ文化ホールで写真展
書 道	県高等学校書道展 高野山競書大会(推薦2 特選3 准特選4 金6 銀4 銅6)
吹 奏 楽	吹奏楽コンクール県大会 銀賞
美 術	県高等学校美術展出展
放 送	NHK杯全国高校放送コンテスト県大会 テレビドキュメント・ラジオドラマ・アナウンス // 全国大会 テレビドキュメント部門入選 ラジオドラマ部門 高校放送コンテスト新人大会

運動クラブ

弓道 剣道 サッカー 水泳 野球 陸上 ソフトテニス 卓球
ソフトボール バドミントン テニス バasketボール
ハンドボール バレーボール フットサル

長野県高等学校総合体育大会

弓 道 (男 子)	団体
弓 道 (女 子)	団体
サ ッ カ ー	
バスケッボール(男子)	ベスト16
バスケッボール(女子)	
バレーボール(男子)	3位
バレーボール(女子)	
ソフトテニス(男子)	団体 個人
陸 上 (女 子)	走り高跳び
卓 球 (女 子)	団体
ソ フ ト ボ ー ル	
ハ ン ド ボ ー ル	(男子)
剣 道 (男 子)	団体
剣 道 (女 子)	団体
水 泳	100m背 100mバタ 200mバタ
な ぎ な た	演技

全国高等学校野球選手権県大会

野 球	ベスト16
-----	-------

北信越高等学校体育大会

水 泳 (男 ・ 女)	100m背 100mバタ 200mバタ	長野市
バレーボール(男子)	ベスト16	上越市
陸 上 (女 子)	走り高跳び	金沢市
な ぎ な た	演技	福井市

全国高等学校総合体育大会

な ぎ な た	演技	山口市
---------	----	-----

長野県高等学校新人体育大会

水 泳		
弓 道 (男 子)	団体3位	
陸 上 (女 子)	走り高跳び	
ハ ン ド ボ ー ル	(男子)	
サ ッ カ ー	ベスト16	
バ ド ミ ン ト ン		
卓 球 (女 子)	団体3位	
テ ニ ス		
バレーボール(男女)		

北信越高等学校新人体育大会

弓 道 (男 子)	団体	
陸 上 (女 子)	走り高跳び	

平成28年度 生徒会活動紹介

4月25日～29日	熊本地震への募金活動
6月7日	春季クラスマッチ
6月10日	ミスズっ子ミーティング
6月13日	盲学校との交流
7月8日～11日	第69回 双蝶祭「千祭一遇～最高の瞬間を刻め～」 来場者 2日間 2,500名
7月28日～8月10日	福祉施設ボランティア活動 訪問先 ①北部デイサービスセンター ②東部デイサービスセンター ③北ふれあいホーム ④ふれっ手 ⑤浅間児童センター ⑥あがた児童センター ⑦乳児院
9月25日	視覚障害者施設「ふれっ手まつり」ボランティア活動
10月8日	松本盲学校文化祭参加
10月14日	ミスズっ子ミーティング (18歳選挙権について・自転車の危険マップ作り)

平成28年度の母校支援の状況

学 校	美須々ヶ丘セミナー負担金
	学校整備共同作業 (作業台レンタル、塗装道具)
	美須々ヶ丘教育会館用スリッパ
ク ラ ブ	両開き書庫、扇風機 等
	ガット張り機：バドミントン部
	物置：弓道部
	デジタイマー、ケーブル：バスケットボール部
	防球フェンス：野球部・サッカー部
	大会出場PR板：バレーボール部、陸上部、水泳部

進学合格状況 (平成27年度末 延べ人数 浪人含む)

【国公立大学】 12名							
信州大学	3	富山大学	1	山梨大学	2		
長崎大学	1	岐阜薬科大学	1	静岡文化芸術大学	1		
高崎経済大学	1	都留文科大学	1	福井県立大学	1		
【私立大学】 252名 (一部抜粋)							
愛知大学	2	工学院大学	4	拓殖大学	6	獨協大学	2
青山学院大学	1	国学院大学	1	玉川大学	2	長野大学	7
亜細亜大学	1	国土館大学	3	中京大学	2	長野保健医療大学	5
桜美林大学	2	駒澤大学	5	津田塾大学	2	南山大学	1
大妻女子大学	1	佐久大学	3	帝京大学	12	日本大学	8
神奈川大学	6	芝浦工業大学	2	東海大学	7	日本福祉大学	4
神奈川工科大学	3	鈴鹿医療科学大学	1	東京経済大学	2	法政大学	3
関東学院大学	4	諏訪東京理科大学	5	東京電機大学	4	松本大学	26
北里大学	1	成蹊大学	3	東京薬科大学	1	武蔵大学	1
岐阜医療科学大学	1	清泉女学院大学	1	東京理科大学	1	明治学院大学	1
京都外国語大学	2	専修大学	5	同志社大学	2	立命館大学	7
京都産業大学	1	大東文化大学	8	東洋大学	10	龍谷大学	3
【公立短期大学】 5名							
長野県短大	4	大月短大	1				
【私立短期大学】 47名							
松本短大	13	松本大学松商短大部	14	昭和音楽大学短大部	1		
清泉女学院短大	5	上田女子短大	1	実践女子大学短大部	1		
飯田女子短大	7	共立女子短大	1	山梨学院短大	2		
【専門各種学校】 67名							
看護医療系	22	その他分野	45				



本校創立100周年記念誌 「美須々のこころ」(校歌CD付) を好評発売中

1冊 5,000円

ご購入希望の方は事務局まで
ご連絡ください。

美須々教育会館(同窓会館)を ご利用ください。

(同窓会の前に見学して、懇親会へ)
ご利用希望の方はご連絡ください。
学校 TEL 0263 (33) 3690

事務局は毎週火曜日の10時から15時まで
開館しています。

事務局TEL & FAX 0263 (33) 2560

平成28年度の定期総会にて審議の結果、大きな事業である同窓会名簿の発行が承認されました。毎年320名余の卒業生を同窓生として迎えており、前回発行から13年経ち、新たに約4,200名の名簿が加えられます。同窓会活動の基軸として大いに活用していただけることと思います。▼今年度は副会長と理事の改選が承認されました。石田さんは地域での活動、中村さんは携わっている福祉の現実について紹介してくださいました。▼「活躍する卒業生」にて三輪さんの『ラジオ体操愛』を読み、休止していたラジオ体操を再開するきっかけとなりました。渡邊さんのピアノへの愛は、多くの人との関わりの中で継続され、演奏することの楽しさは、お子様に受け継がれている宝物だと思えました。▼コンサートは、神田さんのフルートに纏わるお話を交えながら、お二人の息の合った演奏に心を震わせる素晴らしいひとときとなりました。▼美須々ヶ丘セミナー「信州学・第3回 真田丸と松本」は、大河ドラマのシーンを思い出しながら拝聴し、真田氏や松本の小笠原氏といった地方豪族が、生き残るための策を弄した歴史の流れを学びました。地域の歴史を学び、過去・現在・未来が繋がっていることを改めて認識し、どのような未来像を描き、それに向かって何をなすべきか、が大切かと思えました。▼本年もご指導ご協力を賜りますようお願い致します。

編集後記

スタッフ募集

同窓会では役員として運営をお手伝いしていただけるスタッフを募集しています。
ご協力いただける方は、下記のメールアドレスよりご連絡をお待ちしております。
詳細は同窓会ホームページをご覧ください。

jimu@misuzu-dosokai.jp